

令和7年6月の景色



膨らんだ雌花

果実

ヒメコウゾ クワ科 コウゾ属

日当たりのよい林で見られる落葉低木です。武蔵台緑地では黒鐘公園寄りの広場周辺で多く見られます。

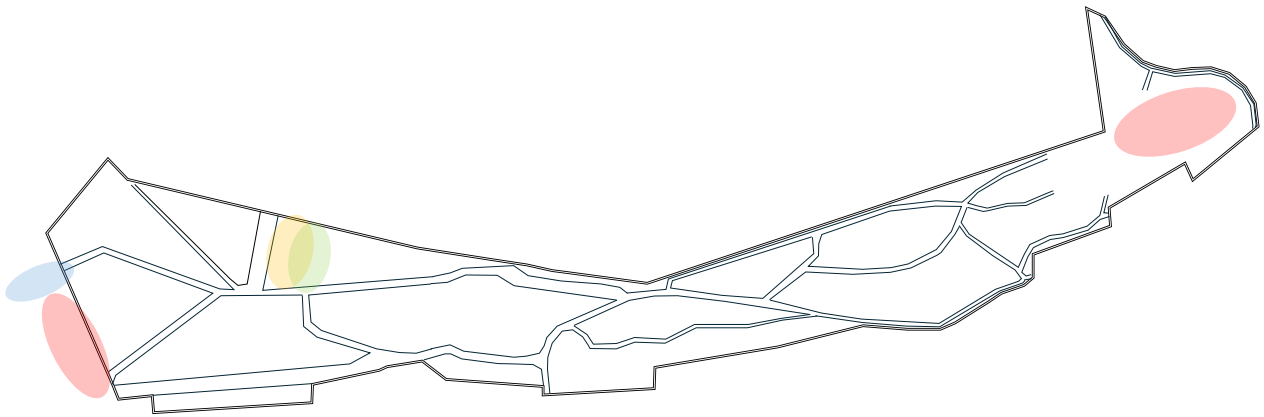
花は葉が開くのと同時に咲き、雄花と雌花が同じ株につきます。（雌雄同株）
いまの時期は可愛い赤い実がたくさんっており、目をひきます。
鳥やカミキリムシが食べることもあるそうです。

和紙の原料となるコウゾは、ヒメコウゾとカジノキの雑種であると言われています。

業務の実施内容

- ・ 選択除草
- ・ ササ刈り
- ・ 実生木と常緑樹の選択除去
- ・ 草刈
- ・ 市民ボランティア等との協働
- ・ 巡回
- ・ 投棄物の回収清掃

作業箇所図



- 実生木・常緑樹の選択除去
- 外来種・栽培種ほかの選択除去
- ササ刈り
- 草刈

選択除草・ササ刈り・実生木などの除去

アカマツ林のエリアで、選択除草とササ刈りをしました。

林床（りんしょう：林の地面のこと）の明るさを保つためササ類は地際から刈り取ります。

ササ類の密度は少しずつ低下しており、手入れを続けてきた成果が出ています。

ニガナなど明るい林床を好む草も増えてきましたが、それ以上に目立つのはつる植物です。

繁茂するつる植物を減らして目標とする姿になるまでは、まだ時間がかかりそうです。



作業前



作業後



作業前



作業後

*実生木（みしょうぼく）とは…

風や鳥などに運ばれてきた種から芽生え、成長した樹木のこと。

草刈

遊歩道脇の草木が成長すると通行の支障となるため、草刈を実施しました。



作業前



作業後

巡回

植物がどんどんと伸びる季節です。つる植物はより多くの光を浴びようと、高いところに登っていきます。つる植物の葉が樹木の枝を覆うようにまでなると、樹木の生育の妨げとなります。巡回時には樹木に登り始めているのを見つけ次第、除去するようにしています。

また、林内には丸太を積んでいる場所がいくつかありますが、その場所から転がされて遊歩道に放置されていることがたびたびあり、見つけると元の位置に戻しています。通行の妨げとなりますので、遊歩道に丸太を転がさないようにしていただきたいと思います。



樹木に登るつる植物（ツタ）



遊歩道に放置された丸太

丸太がもともと積んであった場所

投棄物の回収清掃

今月も砂利やコンクリートガラが多数ありました。
また、そば殻の投棄もありました。



砂利やコンクリートガラ



そば殻

市民協働

府中市環境調査員会議との協働 自然環境調査（植物班）

毎月1回開催される自然環境調査（植物班）に同行し、調査をしています。

調査日以外に見つけた生育場所・状況等については随時、情報提供をしています。

今月はヤエドクダミやムラサキシキブに注目が集まりました。



ヤエドクダミ 近辺で10茎ほど確認できた ムラサキシキブ この緑地で多く見られる低木

武蔵台緑地保全ボランティアとの協働

緑地整備活動に同行し、手入れ内容や方法についての助言や植物生育状況などについて情報提供をしています。

今月は緑地での活動はなかったため、オカトラノオの開花情報を共有しました。



この場所では130茎のオカトラノオが確認できました。（昨年は50～60茎）

植物相調査

こまめに調査をし、毎月1回の自然環境調査では確認していない時期や場所の状況を記録しています。



ノヤマトンボ（オオバノトンボソウ） 蕾



開花前に先端から枯れてしまった株



たくさんの蕾をつけたヤマユリ 開花間近



ヒヨドリバナ 蕾



ヤマグワの実 長い花柱がマグワと見分けるポイント



ホタルブクロ 花